



地域ニュース 6月号 第336号



発行 江古田区民活動センター運営委員会
 住所 〒165-0023 中野区江原町 2-3-15
 電話 3954 - 6963
 FAX 3954 - 6964
 E-mail: nakano_egota@lagoon.ocn.ne.jp
 http://www.nakano-egota.gr.jp

江古田獅子舞保存会の堀野慧さんにインタビュー…苦労話などお聞きしました
 毎年10月第1日曜日に江古田氷川神社の祭礼で舞われる江古田獅子舞、保存会発行の冊子によれば『田楽舞の内の獅子舞として古の姿のまま保存されて七百年・・・都内の郷土芸術と



**江古田獅子舞が
東京都指定無形民俗文化財に
指定されました!**

◎この度の指定おめでとございます。指定を受けるまでどのくらいの期間がかかったのですか?
 堀野さん：2年前に申請しました。その間、関係方面にも働きかけ、東京都教育委員会の数回にわたるヒヤリングがあり、東京

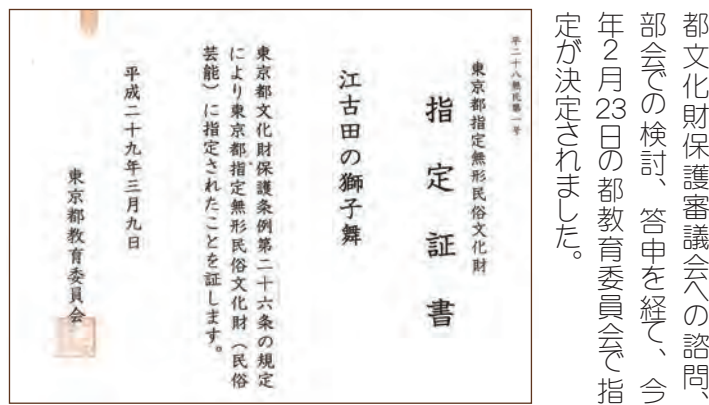
この獅子舞がこのほど東京都指定無形民俗文化財に指定されました。
 そこで、地元なればこそ聞きたい郷土芸術を守り続ける苦労話や指定のいきななについて保存会の会長代行を担当しておられる堀野慧さんをお訪ねし、お伺いしま



◎郷土芸術を長年にわたって守り続けていくことは本当に大変なことだと思えますが。
 堀野さん：今は長老格になっていくけれど、昭和55年父親の後を継ぎ世話人として、現在に至っております。
 祭礼にはかけ祭り和本祭りがありますが、やはり大変なのは『舞い手と練習会場の確保』です。舞い手は『女人禁制』、昔は家



指定証書授与式



の長男しかできなかったのですが、女獅子は小学校2年生〜3年生、中獅子は中学生か高校生、大獅子は社会人、全部で30人ほどです。
 花笠と笛は女性の手を借りています。舞い手は地元の子ども達だけでは確保できないのでやりたい子がいれば受け入れていますが、それでも人集めが大変です。
 練習会場、昔は地元有志の広間を借りてやっていたのですが、改築される家が増え、広間もなくなってしまうました。今は氷川神社をお借りして練習を重ねています。
 ◎獅子舞の衣装や、祭礼の経費など財政的な負担も大変なのではと思つのですが・・・
 堀野さん：中野区無形民俗文化財に指定されていたので、助成金をいただけていました。また地元5町会からの補助金、さらに約600人の保存会会員の年会費などで賄ってきました。
 一方、支出面では、獅子の衣装は5年〜7年で作り直さなければなりません。獅子のこつがけは『ちりめん』で作っていましたが、かなり高価なので、今は扱いやすい合織のちりめんを使っています。東京都の指定を受けたので、中野区からの助成金はなくなりますが、衣装等に

要する費用の7割は都が負担してくれまます。それでも毎年のやりくりで四苦八苦しています。地元の皆様、是非保存会に入会していただきたいと思います。

※インタビューを終えて

今年、年男の堀野さん、二代にわたって『江古田獅子舞』に情熱を注いで来られました。郷土芸術を維持発展させるための後継者育成で堀野さんの獅子舞に寄せる思いを地元から支えなければ・・・とあらためて実感しました。



江古田獅子舞について

江古田の年中行事で特筆すべきものと言ったら、誰もが氷川神社に伝わる勇壮な獅子舞をあげるにちがいない。

この伝統ある獅子舞が現在もな

お、地元の熱心な獅子舞保存会の人達の手で古式豊かに続けられていることは喜ばしいことである。

獅子舞の起源は、御岳神社と東福寺によって鎌倉時代に始められたといわれている。大正二年に御岳神社が氷川神社に合祀されてからは、獅子舞は氷川神社に属するようになった。従来、獅子舞は東福寺の境内に舞台が設置されて舞っていたが、氷川神社に社務所ができてからは、ここに移った。

江古田の獅子舞は、素朴古雅で、田楽舞の正しい演武法を伝えた郷土芸能として、その伝統が守られている。

毎年、秋の例大祭にこの獅子舞が奉納される。かつて例祭日は一〇月二九日であったが、昭和二七年からは、一〇月の第一日曜日になった。本祭りとかげ祭りが一年おきにあり、本祭りは盛大で、江古田一丁目の旧名主、深野家から氷川神社まで獅子舞行列がぎやかに行われ、盛観そのものである。

当日は、氷川神社境内に昔なつかしい屋台がならび、大人たちにとっても楽しい、なつかしい祭りとなっている。

行列が神社に到着して、しばらくすると、神楽殿で獅子舞が始まる。あたりが暗くなれば御用にと書かれた提灯のあかりが目にと

江古田獅子舞

巡行絵巻（部分）

中野区立歴史民俗資料館より



ます。

古老の話によると、これは将軍上覧以来、江戸幕府が獅子舞のために特に使用することを許可したものとのことである。獅子舞行列に関しては、江古田四丁目の旧家山崎喜作氏宅に保存されている江戸時代の絵巻物にその様子が描かれている。（現在は歴史民俗資料館に御用札などと同じく保存されている）

行列には、大獅子、女獅子、中獅子、花笠、笛方などが色彩画で描かれているが、その中に朱雀、青竜、玄武、白虎の四神が目につく。

獅子舞に四神を配した点に注目する必要があると思うが、獅子舞と四神との関係について研究の余地がありそうだ。

※昭和五二年三月発行

「心やさしく中野の民俗と行事」
発行所 中野区教育委員会より抜粋

江古田獅子舞 舞手募集

【対象】 小学校2～6年生くらいの男子

【練習日時】 9月の10日間程度。午後7時～10時

【練習場所】 江古田氷川神社社務所など

参加費無料。見学可。

【問合せ】 江古田獅子舞保存会

会長代行 堀野慧

☎090 (3209) 8468



獅子舞練習風景

中野区教育委員会表彰

平成28年度に、区の教育・文化・スポーツの振興や発展に功労のあった方、各種大会・行事等で優秀な成績を収めた方の中から、江古田地域では以下の皆さんが表彰されました。おめでとうございます。

表彰状

井上 大智さん

中野区立江古田小学校3年

第21回醍醐敏郎杯全国少年柔道

錬成大会 小学生低学年の部

優勝

柴田 美風さん

中野区立第七中学校3年

第60回全国学芸サイエンスコン

クール 理科自由研究部門 審査

委員特別奨励賞

褒状

香月 志音さん

中野区立第七中学校3年

第33回関東パドルテニス大会

ジュニアクラスの部ダブルス

優勝

(学年は平成28年度)